



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社角川グループホールディングス
コード番号 9477 URL <http://www.kadokawa-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 辰男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括マネージャー (氏名) 高山 康明

TEL 03-3238-8561

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	35,171	9.8	2,916	258.0	3,112	191.0	2,518	—
23年3月期第1四半期	32,018	4.6	814	△26.0	1,069	△18.3	△2,472	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,527百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,132百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	99.55	86.86
23年3月期第1四半期	△98.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	123,964	76,514	61.1
23年3月期	121,951	73,150	59.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 75,796百万円 23年3月期 72,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,000	1.7	4,000	60.8	4,200	44.7	3,200	—	125.00
通期	142,000	1.4	8,500	9.1	8,800	2.7	6,500	2.1	258.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	27,260,800 株	23年3月期	27,260,800 株
24年3月期1Q	1,377,248 株	23年3月期	2,107,214 株
24年3月期1Q	25,297,980 株	23年3月期1Q	25,220,699 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気に緩やかな回復の兆しがみられたものの、東日本大震災とその後の電力供給の制約や長引く円高の影響で、雇用や個人所得が依然として厳しい状況にあり、景気の本格回復は不透明な状況が続いております。

こうした環境下、当社グループは成長と発展を継続すべく、新事業領域への積極的な展開と抜本的な構造改革を行い収益力の向上に取り組んでおります。

書籍関連においては、文庫、ライトノベル及びコミックスの各シリーズ作品の販売が好調に推移し、また、文芸書、実用書では市場ニーズにマッチした作品を生み出し、ヒット作を継続的に創出しております。

雑誌・広告関連においては、東日本大震災の影響が大きく、販売、広告収入ともに厳しい結果となりました。

映像関連においては、制作・配給事業において小規模作品が多く前年同期を下回る売上となりましたが、アニメのBlu-ray作品を中心にパッケージビジネスは順調に推移いたしました。

ネット・デジタル関連においては、ゲームソフト、eコマース事業が引き続き順調に推移し、電子書籍については、独自のデジタルコンテンツ配信プラットフォーム「BOOK☆WALKER」においてコンテンツの充実に取り組んでおります。

海外関連においては、ライトノベルの新刊「涼宮ハルヒの驚愕」を世界同時発売する史上初の試みを行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高351億71百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益29億16百万円（同258.0%増）、経常利益31億12百万円（同191.0%増）、四半期純利益25億18百万円（前年同期は四半期純損失24億72百万円）となりました。

各ジャンルにおける売上貢献作品は次のとおりであります。

(単行本)

「県庁おもてなし課」有川浩、「ザ・パワー」ロンダ・バーン（角川書店）

「9割がバイトでも最高のスタッフに育つディズニーの教え方」福島文二郎（中経出版）

(新書)

「先送りできない日本 “第二の焼け跡”からの再出発」池上彰（角川書店）

(文庫)

「図書館戦争」有川浩、「テンペスト」池上永一（角川書店）

(ライトノベル)

「涼宮ハルヒの驚愕（前）（後）」谷川流（角川書店）

「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」伏見つかさ（アスキー・メディアワークス）

「バカとテストと召喚獣」井上堅二（エンターブレイン）

「いつか天魔の黒ウサギ」鏡貴也（富士見書房）

(コミックス)

「デッドマン・ワンダーランド」片岡人生 近藤一馬（角川書店）

「学園黙示録H.O.T.D.」佐藤大輔（富士見書房）

「テルマエ・ロマエ」ヤマザキマリ（エンターブレイン）

(DVD、Blu-ray)

「らき☆すた Blu-rayBOX」、「ストライクウィッチーズBlu-rayBOX」（角川書店）

(映画)

「漫オギャング」、「はやぶさ HAYABUSA」（配給：角川書店）

(ゲーム)

P S P 「Steins ; Gate」（角川書店）

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前期末に比べて20億13百万円増加し、1,239億64百万円となりました。有価証券及び投資有価証券が取得により増加した一方、これらの取得、法人税等の納付、さらに配当金の支払等により、現金及び預金が減少しました。

負債は、前期末に比べて13億50百万円減少し、474億49百万円となりました。納税により未払法人税等が、賞与の支給により賞与引当金が、それぞれ減少しました。

純資産は、前期末に比べて33億63百万円増加し、765億14百万円となりました。四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方、第三者割当による処分により自己株式が減少しましたが、いずれも株主資本の増加要因となりました。

自己資本比率は、期首に比べて1.7ポイント上がり、61.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、書籍のうち文庫、ライトノベル及びコミックスにおいて、「涼宮ハルヒ」、「図書館戦争」、「テルマエ・ロマエ」等の各シリーズ作品やメディアミックス作品の販売が好調に推移し、ビジネス書、文芸書等も含め、これら作品の重版販売が増加し、返品率も低下したことから営業利益が期初予想を大幅に上回る見込みとなりました。その結果、第2四半期連結累計期間の業績見込につきましては、売上高は前回発表予想から30億円増額の680億円、営業利益は同14億円増額の40億円、経常利益は同14億円増額の42億円、四半期純利益は同12億円増額の32億円と見込んでおります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、前回発表予想と変わらず、売上高は1,420億円、営業利益は85億円、経常利益は88億円、当期純利益は65億円と見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,174	23,527
受取手形及び売掛金	32,852	32,161
有価証券	—	303
たな卸資産	12,473	12,883
繰延税金資産	3,884	3,747
その他	2,708	3,753
貸倒引当金	△151	△120
流動資産合計	77,942	76,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,227	6,473
工具、器具及び備品（純額）	1,308	1,382
土地	10,530	10,530
その他（純額）	1,814	1,794
有形固定資産合計	19,880	20,180
無形固定資産		
のれん	671	613
その他	1,796	1,713
無形固定資産合計	2,468	2,327
投資その他の資産		
投資有価証券	11,678	14,807
繰延税金資産	2,238	2,212
その他	8,073	8,459
貸倒引当金	△331	△278
投資その他の資産合計	21,659	25,200
固定資産合計	44,008	47,708
資産合計	121,951	123,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,202	16,796
短期借入金	573	581
未払法人税等	1,755	389
賞与引当金	1,356	863
返品調整引当金	3,526	3,635
その他	9,179	9,951
流動負債合計	33,593	32,218
固定負債		
新株予約権付社債	11,000	11,000
長期借入金	33	23
繰延税金負債	353	388
退職給付引当金	2,200	2,255
その他	1,619	1,563
固定負債合計	15,206	15,230
負債合計	48,800	47,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,330	26,330
資本剰余金	27,704	27,375
利益剰余金	27,907	29,509
自己株式	△6,014	△3,931
株主資本合計	75,928	79,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△686	△596
土地再評価差額金	△256	△256
為替換算調整勘定	△2,505	△2,633
その他の包括利益累計額合計	△3,449	△3,486
少数株主持分	671	718
純資産合計	73,150	76,514
負債純資産合計	121,951	123,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	32,018	35,171
売上原価	24,540	24,788
売上総利益	7,477	10,383
返品調整引当金戻入額	3,806	3,526
返品調整引当金繰入額	3,173	3,635
差引売上総利益	8,110	10,274
販売費及び一般管理費	7,296	7,357
営業利益	814	2,916
営業外収益		
受取利息	21	14
受取配当金	105	95
負ののれん償却額	24	20
持分法による投資利益	53	1
複合金融商品評価益	26	—
受取保険金	9	13
古紙売却益	40	45
その他	21	64
営業外収益合計	303	255
営業外費用		
支払利息	40	38
複合金融商品評価損	—	12
その他	7	7
営業外費用合計	48	58
経常利益	1,069	3,112
特別利益		
固定資産売却益	0	—
関係会社株式売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	30	122
投資有価証券評価損	2,267	0
出資金評価損	—	8
会員権評価損	—	1
特別退職金	6	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	408	—
特別損失合計	2,713	136
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,643	2,975
法人税等	800	421
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,444	2,554
少数株主利益	28	35
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,472	2,518

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△2,444	2,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,604	90
為替換算調整勘定	△295	△132
持分法適用会社に対する持分相当額	2	14
その他の包括利益合計	1,311	△26
四半期包括利益	△1,132	2,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,167	2,480
少数株主に係る四半期包括利益	35	46

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは出版物、映像等のコンテンツの開発、制作、仕入、販売及びその付帯業務を主な事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月26日開催の当社取締役会決議に基づき、同年6月13日付で㈱ドワンゴを割当先とする自己株式処分を実施しました。この結果、前期末に比べて自己株式が2,082百万円、資本剰余金が329百万円、利益剰余金が36百万円それぞれ減少し、株主資本が1,716百万円増加しております。